

益勤ク薩ツテ優劣ナシ技術者モ爲メニ能クヲ發揮
スニ能ハズ成品ハ粗製濫造ヲ免レガレハ今後ハ中間者ヲ
絶対ニ排シ工場ヨリ直接ノ請負制度ニサシ度キ事

第四条ノ説明 従来一般ノ職工ニ一定ノ食堂ナキ爲メ各
自到ルト處ニ於テ喫食シ爲メニ残物ヲ遺棄シ衛生上非
常ニ忌ムル事ト思考ス故ニ食堂ヲ新設サシ度キ事
従来工場ノ便所ノ設備最モ劣ク爲メニ職工ノ困難ハ勿
論絶エズ汚物排出シ近ヨリ能ハズ斯ル事ハ衛生上等
閉ニ附スルキニテラズ依テ便所ノ増設ハ勿論清潔方
法ニ最モ留意スル度キ事

第七条ノ説明 目下ノ社会状態即チ物價ニテハ日給二円
以下ニテハ生計困難ニ付キ此際二円以下ノ日給者ニ
割ノ増給ニ依リテ生活ヲ續ク得ル様セシ度キ事

第九條ノ説明 吾等ハ八時間制ヲ要求シタルモノナルカ故ニ
長時間ノ残業ハ好マズ然レドモ工場主ノ工事都合ニ依リ
残業ヲ要求スル場合ハ左ノ割合ヲ以テ歩増ヲサシ度
キ事

- 一 十一時迄ノ残業ハ一時ヲニ對シニ歩増
- 一 十一時ヲ過カシハ徹夜トシテ三人分

右各項御審議ノ上未ル六月二日正午迄ニ海回答被下
度此段嘆願候也

大正十一年五月廿九日

敷津工場職工一同

右代表者 小國興一 外五名

(五月廿九日)